



8月25日 参議院東日本大震災復興特別委員会理事として岩手県を視察



自民党東日本大震災復興加速化本部総会

と位置づけられます。専門職の配置も念頭に、都道府県が主体となって、ニーズに応える保健医療福祉サービスをデザインしていくことになります。看護職にも関連の深い研修制度の創設については「いつまでに、どのような地域及び施設に、どの領域の看護職員を、どのような身分で、何人養成・配置し、どのような体系でそれを動かしていくのか」という具体的な計画や、それに基づく事業の企画、さらには実施に要する予算確保など、法施行後の運用につながる一連の準備を急ピッチで進めなければなりません。

法律が成立した後、現場がどれだけ力強く息吹いていくのかという点が、

野党議員としての厳しいスタートから早や4年1か月、不慣れながら多くのみなさまのご指導をいただき、大過なく活動を続けていただいております。この間、一心にお支えくださいましたみなさまのご厚情に対し改めて感謝を申し上げますとともに、初心を忘れず、より一層精進してまいりますことをお約束いたします。

命の守り手としての尊厳

9月1日は防災の日でした。各地で様々な訓練が催され、災害対策に取り組む決意を再確認なさった方も多かったことでしょう。振り返りますと、今夏は梅雨明け直後の猛暑から一転、局地に集中する雷雨や豪雨の続く非常に

不安定な気候に悩まされました。とくに広島市内の土砂災害による大惨事では、第一線で活躍中の看護職が尊い命を失い、また12件を超える看護職の家屋が被害を受けました。ご遺族のみなさまの深い悲しみを思いますと、慰めの言葉も容易には浮かびません。衷心よりお悔やみを申し上げます。また、被災なさったみなさまに対し、心からお見舞いを申し上げます。

国民の生きる力を守る支える看護職は、苛烈な中でも休みなく活動が続け、役割を果たす覚悟を持ちながら現場に立っています。一人ひとりが地域社会全体の尊い財産であり、命綱でもあります。全国各地でこうした使命を果たす看護職の仲間たちは、不測の事態の当事者として被害を被ることも多いわ



8月29日 自民党看護問題小委員会

私たち看護界の腕の見せどころと言えますしょう。ともにがんばります。

女性の健康を主体的に考える

継続審議となっている「女性の健康の包括的支援に関する法案」については、一刻も早く成立させなければなりません。そのために、夏の間にも継続して様々な活動を実施してまいります。この秋、世界初の女性版ダボス会議(9月12から14日)が都内で開催されることを契機に、外務省はその前後の一定期間をシャイン・ウィークスと名付け、国内各地で実施される女性の社会参加を促す催しを公式サイドイベントとして認証する運動を展開しています。

看護職は就業者全体の94%が女性であるという観点からも、結婚・出産・育児、就労その他の社会参加の前提として、女性の健康特性が正しく理解され、女性の健康が守られる社会風土を醸成することが重要だとの声を上げていきたいと思っています。

シャイン・ウィークス関連では、8月29日に「法案の逐条解釈を進める院内勉強会」、9月19日に都内で「女性の健康に関する公開シンポジウム」を企画しました。いずれも参加者による熱心な議論が行われ「女性の健康の包括的支援」についての共通理解が少しずつ浸透してきていると、手応えを感じています。



秋の深まりとともに、私たちが看護職への理解が進み、専門職として長く働き続けることのできる就業環境の改善が少しでも図られるように、引き続き地道な努力を重ねてまいります。



8月29日 女性の健康の包括的支援に関する法律案勉強会

厚生労働大臣政務官を 拝命いたしました

高階 恵美子 参議院議員



9月4日 首相官邸にて大臣政務官の辞令が交付されました。



9月4日 辞令交付に続き、初政務官会合が開催。



8月22日 日本赤十字看護大学にて講演

今般、厚生労働大臣政務官を拝命いたしました。

これまで党においては厚生労働部会長代理、女性の健康の包括的支援に関するプロジェクトチーム座長、女性局長代理など、参議院においては副幹事長を経て国対副委員長を務めさせていただきました。先の国会では厚生労働委員会及び東日本大震災復興特別委員会の理事を担当してまいりました。

不安定な気候に悩まされました。とくに広島市内の土砂災害による大惨事では、第一線で活躍中の看護職が尊い命を失い、また12件を超える看護職の家屋が被害を受けました。ご遺族のみなさまの深い悲しみを思いますと、慰めの言葉も容易には浮かびません。衷心よりお悔やみを申し上げます。また、被災なさったみなさまに対し、心からお見舞いを申し上げます。

国民の生きる力を守る支える看護職は、苛烈な中でも休みなく活動が続け、役割を果たす覚悟を持ちながら現場に立っています。一人ひとりが地域社会全体の尊い財産であり、命綱でもあります。全国各地でこうした使命を果たす看護職の仲間たちは、不測の事態の当事者として被害を被ることも多いわ

不安定な気候に悩まされました。とくに広島市内の土砂災害による大惨事では、第一線で活躍中の看護職が尊い命を失い、また12件を超える看護職の家屋が被害を受けました。ご遺族のみなさまの深い悲しみを思いますと、慰めの言葉も容易には浮かびません。衷心よりお悔やみを申し上げます。また、被災なさったみなさまに対し、心からお見舞いを申し上げます。

国民の生きる力を守る支える看護職は、苛烈な中でも休みなく活動が続け、役割を果たす覚悟を持ちながら現場に立っています。一人ひとりが地域社会全体の尊い財産であり、命綱でもあります。全国各地でこうした使命を果たす看護職の仲間たちは、不測の事態の当事者として被害を被ることも多いわ

将来的な必要数の養成確保 配置のみならず、国内各所で発生する災害等において常に最前線で救難活動を展開する看護職に対する総合的な救済策にまで視野を広げ、長期的な確保計画を講じられるよう提案していきたいと考えています。

社会保障制度改革を本格軌道に

先の国会で成立した医療介護確保法は、これから段階的に進められる社会保障制度改革を本格軌道に乗せるもの